

年度 2009 学期 後期	曜日・校時 火・2	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	総合英語 II (Comprehensive English II)		
対象年次 1年次	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等)	Lf	科目分類 外国語科目(英語)	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 稲毛逸郎 /Eメールアドレス: inage@net.nagasaki-u.ac.jp /研究室: 教育学部 6F621 教員研究室 /TEL: 095-819-2093 /オフィスアワー: 水曜日 16:10~17:40			
担当教員(オムニバス科目等)			
<p>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</p> <p>授業のねらい: 高等学校までの英語学習をふまえて、英語の読む・書く・聞く・話す、の4技能の力をさらに伸ばし、総合的な英語運用能力を育成することをねらいとする。</p> <p>授業方法: 英語の会話文の聞き取り練習を基に、書く・話す訓練を行い、また、リーディング用教材の英文を、要点を押さえながらできる限り速く読み進める訓練を行う。</p> <p>授業到達目標: これらの英語の4技能の訓練を通して、英検準1級程度の試験に合格できる総合的英語力の育成を目標とする。</p>			
<p>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</p> <p>授業内容(概要)</p> <p>各授業の冒頭で、プリント教材を使用して英語の聴解練習(dictation を中心としたもの)を実施し、書き取った対話文を基に基本的な英語による発話練習を実施する。その後、英語の読解教材を基に、書かれている内容をできる限り正確に、かつ、速く読む練習を行う。同時に、基本的な文法、語句などについて整理して、今後の自主的な英語学習に結び付けていく。</p> <p>第1回: 受講にあつたての諸注意、授業内容についての導入、 Foreword and Introduction 第2回: Taking time and being on time 第3回: Space: Don't insult me 第4回: Why do you ask so many questions? 第5回: Why do Japanese ask so many questions? 第6回: But foreigners are always asking questions, too! 第7回: The meaning of silence and pauses 第8回: Answer me NOW! Responding to questions 第9回: Hurry up and get to the point! 第10回: Look at me when you're talking! 第11回: The importance of saying "No" 第12回: If all else fails, Smile! But don't laugh 第13回: But in Japan, apologize! 第14回: Which comes first, culture or language? 第15回 後期のまとめ</p>			
キーワード	英語の4技能、総合的訓練		
教科書・教材・参考書	教科書として <i>Intercultural Miscommunication</i> . Mary Muro. Seibido. を使用する。第一回目の授業までに、生協の販売コーナーで各自購入すること。その他、適宜、プリント教材を使用する。参考書として、手持ちの和英辞典、英英辞典を十分に活用すること。		
成績評価の方法・基準等	定期試験(70%)、毎回実施予定の小テスト(10%)、授業中の課題に対する積極的な取組状況(20%)を総合的に評価する。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ / 学習・教育目標	既習外国語		
備考(準備学習等)			